

どんどん つながる 地域高規格道路

高規格幹線道路	
供用区間	——
事業中区間	----
未事業化区間
地域高規格道路	
供用区間	——
現道活用区間	
整備区間	
未着手区間

(平成30年3月1日現在)
※()書きのIC名は仮称

北薩横断道路



- 野坂IC～永野IC(約6km) 平成14年8月9日開通
- 中屋敷IC～高尾野IC(約3km) 平成15年3月25日開通
- 永野IC～さつま観音滝IC(約3km) 平成21年3月23日開通
- さつま観音滝IC～さつま広橋IC(約3km) 平成24年2月14日開通

南薩縦貫道



平成29年
3月26日
全線開通



開通式の様子

都城志布志道路



末吉IC～松山IC(約4km) 平成17年2月18日開通
松山IC～有明北IC(約4km) 平成20年2月15日開通

詳しくは
P6～7へ
平成30年
3月4日
開通予定

ありあけ
有明道路

大隅縦貫道



鹿屋串良JCT～笠之原IC(約6km) 平成26年12月21日開通

時代とともに変化する暮らしを支える道路

昭和30年代、経済成長とともに自動車が増え、道路は産業振興に大きな役割を担うなど、人々の暮らしを支えてきました。

現在県では、県内の各地域間をより行き来しやすくするため「地域高規格道路」の整備を進めており、7路線が計画されています。このうち、都城志布志道路「有明道路」と北薩横断道路「泊野道路」の一部区間が新たに3月に開通します。

新しい道路をぜひご利用ください。



国道226号 左方は鹿児島湾



国道10号 重富付近

昭和30年代、県では国道3号・国道10号の改良や舗装、指宿・霧島・桜島を結ぶ観光道路の整備を重点的に進めていました。

地域高規格道路って？

一般的に「高速道路」と呼ばれる高規格幹線道路とつながり、都市と農山村地域などの交流促進や、空港・港湾などへのアクセス向上を図るため、一般の道路よりも早い速度で走行できるように整備される道路です。

- 1. 連携** 通勤範囲を広げたり、都市と農山村地域の連携を強めたりする
- 2. 交流** 物資の流通や人の交流を活発にする
- 3. 連結** 空港・港湾などの交流拠点と地域を結び

問い合わせ先：県庁道路建設課 ☎099-286-3536

鹿児島県の道路豆知識

海を渡る国道!? 国道58号

鹿児島市を起点に種子島、奄美大島を経て沖縄県那覇市まで至る国道58号は、海を渡る珍しい国道です。鹿児島市内の区間は、中央公民館前から西郷隆盛、小松帯刀、五代友厚と、明治維新で活躍した3人の銅像に見つめられながら鹿児島港に至るルートになっています。



鹿児島市内の区間は約700m。国道の大部分は海上区間です。



進化する道路づくり

建設業界は労働者の大量退職時代を迎え、生産性の向上と若手技術者の確保が必要とされています。このような現状から、県では「ICT活用工事」と「週休2日」を推進しています。有明道路ではドローンを活用した測量やICT建設機械による施工が行われ、測量では12人の人員と、4日間の作業期間を短縮することができました。



ドローンによる撮影撮影した写真から、地形の形状などを測量する



ICT対応重機での施工補助員がいなくても、モニター画面で整形を進めることができる

Pick up! 道路づくりを支える女性たち

コーアツ工業株式会社
「美観警備隊美レンジャー」
井原 真澄さん

鹿児島を中心に北は福島から南は沖縄まで、工事現場をパトロールしています。安全・衛生面を女性目線でチェックし、危険を感じる点などを指摘。現場がより安全で動きやすい環境になるよう、活動を続けています。



事務職の女性10人をメインに活動中。(写真左端/井原さん)

道づくりを考える
都城広域女性の会
柿元 まゆみさん

「まちづくり」は「みちづくり」から」という思いを胸に、1日でも早い都城志布志道路の全線開通を目指して、都市・曾於市・志布志市のメンバーと一緒に、関係機関への要望活動などを行っています。女性の明るさや粘り強さを生かし、地域を元気にしたいです。



トレードマークのピンクの法被を着て活動。(写真左から3番目/柿元さん)

図られます。
3月4日(日)には、都城志布志道路の「有明道路」(有明北IC)〜有明東IC)がいよいよ開通を迎えます。

都城と志布志港を結ぶ 都城志布志道路

九州縦貫自動車道の都城ICと志布志港をつなぐ都城志布志道路。この道路が全区間開通すると、都城IC〜志布志港までの所要時間は約25分短くなると見込まれています。また、志布志港とのアクセスがよくなり、農林畜産業などの物流の効率化が図られるほか、大型車が沿線の一般道を使用する場面も減り、より安心して子どもたちが登下校できることなどが期待されています。さらに、大規模な災害発生時には、支援を行う防災対策機能の向上も



3月4日 開通 都城志布志道路 有明道路

- 1 農林畜産業などの発展に役立つ!
輸送時間の短縮
- 2 沿線の歩行者がより安全に!
大型車の交通分離
- 3 大規模災害時の支援に貢献!
防災対策機能の向上

有明道路経由で行く /

ドライブ旅

有明道路の開通によって、アクセスしやすくなった観光地をご紹介します!この機会に県内各地の観光地を巡ってみてはいかがでしょうか?



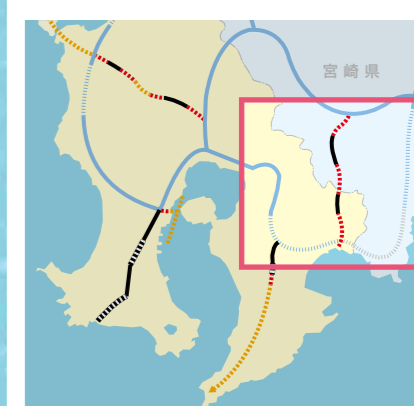
1 松山城址
中世の山城の址で、現在では展望台が建てられています。春は桜の名所として花見客でにぎわいます。
松山ICから県道110号経由 約5分
志布志市松山町新橋
☎ 099-487-2111
(志布志市役所松山支所 総務市民課)



2 大慈寺
室町時代に建てられた臨済宗の寺院。明治初めの廃仏毀釈で一時は廃寺となりましたが、柏州和尚の尽力で再興されました。
有明東ICから県道63号経由 約15分
志布志市志布志町志布志2丁目1-19
☎ 099-472-1179

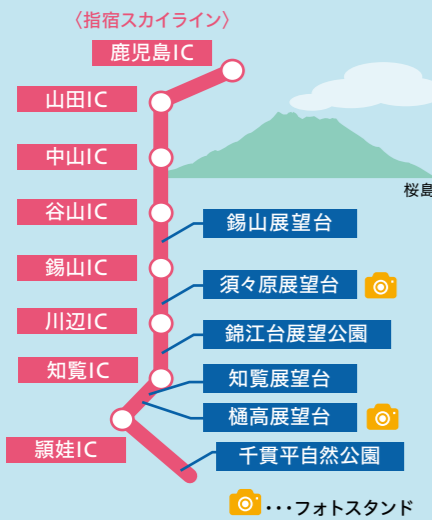


国際的な物流拠点である志布志港の利用拡大へ
● 志布志港の輸入物9割を占める家畜の飼料や穀類を畜産地域へ
● 輸出货量7年連続全国1位の原木を海外へ



鹿児島県の道路 豆知識
指宿スカイラインから望む桜島
(桜島七十七景)

指宿スカイライン沿線には桜島を望める6カ所の展望台などがあり、その全てが「桜島七十七景眺望スポット」に選定されています。天気の良い日は、桜島眺望スポットを巡るドライブに出掛けてみませんか？



桜島七十七景ガイドブックも作成中！

【問い合わせ先】
観光かごしま大キャンペーン推進協議会
(事務局：鹿児島県観光連盟)
☎099-223-5771

インスタ映え！

全国的にも著名な有識者や技術者と議論を重ね、「トンネルの周りを特殊なセメントでドーナツ状に固める」という国内初の先端技術を使う工法を採用することで湧水の量を減らすことに成功。想定外の難題を乗り越え、8年という歳月をかけてトンネルは無事完成しました。



湧水発生時の様子



掘削に使う「ドリルジャンボ」

国内初の先端技術で作られた
県内一長い道路トンネル

泊野道路に建設された北薩トンネルは紫尾山を貫き、さつま町と出水市を結ぶ、全長4850mの鹿児島県で一番長い道路トンネルです。
建設中に問題になったのは「湧水」。トンネルを掘り進めていたところ、1時間あたり最大約1200立方メートル、25mプール3〜4杯分にも及ぶ大量の湧水が発生したのです。

急カーブや
険しい峠越えを緩和

鹿児島空港からさつま町を經由し、出水・阿久根地域に至る北薩横断道路。この道路が整備されることにより、北薩地域から鹿児島空港へのアクセスが向上し、今まで連続する急カーブや険しい峠越えを強いられていた出水市とさつま町の間をより安全に移動できるようになります。また、輸送時間の短縮により、北薩地域の豊かな農水産物などの物流が効率的になります。
3月25日(日)、北薩横断道路の「泊野道路」のうち、きららIC〜中屋敷IC間が開通し、この区間の所要時間が約12分短縮される見込みです。

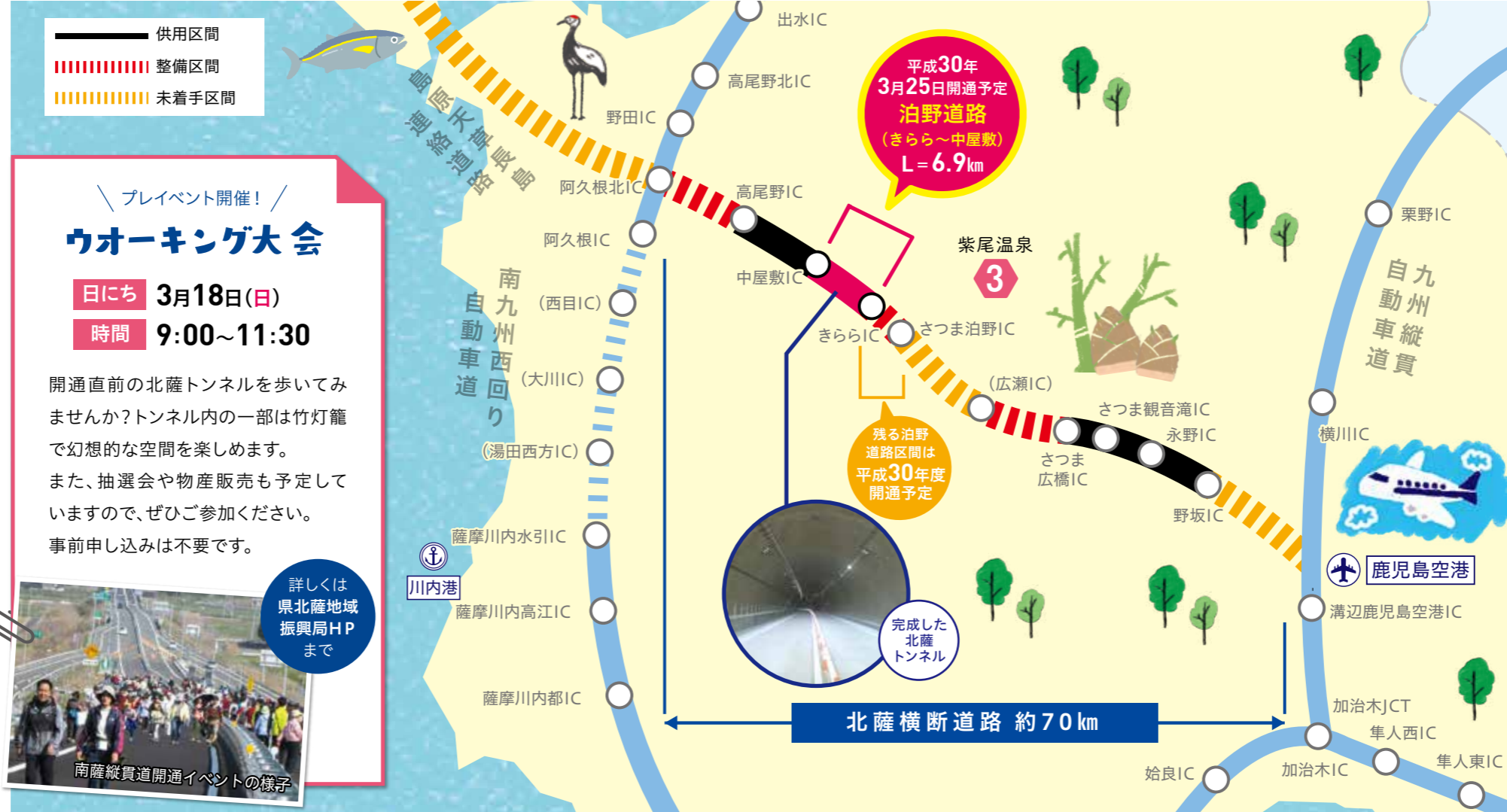


幅員が狭く急カーブが連続する紫尾山の峠越えや冬期の路面凍結などによる通行規制も緩和され、安全で快適な道路交通が確保されます。

3月25日 開通
北薩横断道路
泊野道路

- 峠越えなどのない、安全で快適な道路交通の確保
- 農水産物や工業生產品などの輸送効率UP!
- きららIC〜中屋敷IC区間の所要時間 約12分短縮

開通前	18分
開通後	6分 (12分短縮!)



プレイベント開催！
ウォーキング大会
日にち 3月18日(日)
時間 9:00~11:30

開通直前の北薩トンネルを歩いてみませんか？トンネル内の一部は竹灯籠で幻想的な空間を楽しめます。また、抽選会や物産販売も予定していますので、ぜひご参加ください。事前申し込みは不要です。

詳しくは 県北薩地域振興局HPまで

南薩縦貫道開通イベントの様子

泊野道路経由で行く/
ドライブ旅

3 紫尾温泉

紫尾神社の拝殿下から温泉が湧き出ているため、別名「神の湯」とも呼ばれています。

きららICから県道397号経由 約20分
📍 さつま町 紫尾
☎ 0996-53-0525

